

# 高山植物の ベストシーズンに行く

## モンゴルフラワーハイキング

現地ガイドご案内

モンゴルは南の中国と北のロシアに挟まれた独自の文化を守る遊牧民の国です。また、モンゴルといえば草原の国のイメージもあるでしょう。一見、一様にしか見えない草原なのに、足元には想像以上にたくさんの植物の種類があることに驚きます。草原にも岩つぼみや湿地っぽい斜面があり、さらに車で移動すると岩のある場所、川原、湿地、林、砂漠など、環境に応じてたくさんの種類を見るチャンスがあるのです。

旅の前半は4種類のアツモリソウに出会えるというダルハン市近郊フデル村とバエオニア・アノマラマヤンヤク村の間で、ウラル山脈からモンゴルまで広く分布。濃いピンク色の花が迫力満点。咲くエルテネット市近郊ボルガン村(いずれもウランバートル

から約350km)を訪ねます。その後の黄色いケシにも出会い、夜行列車でウランバートルに戻ります。その後ウランバートル近郊テレルジへ(約65km)ピンクのプリムラ、白いアネモネ、紫と黄色のアイルスやスマレの仲間、さらに圧倒的な規模で咲き誇るオキナグサの仲間を探索します。今回の旅はアツモリソウ、シャクヤク、幻の黄色いケシ、オキナグサ、咲く時期の微妙に異なる植物を組み合わせて、さまざまな種類の花が見られるように割り出したベストシーズンに出かける6日間となっています。

日本語が堪能なガイドとモンゴル国立大学の権威オユナ博士(またはお弟子さん)がボタニカルガイドとして同行致します。塩味で肉のだしを生かしたモンゴル料理も好評で、ゲルの宿泊体験も新鮮そのものです。

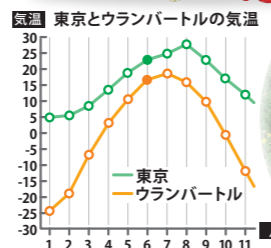
### 4種類の アツモリソウに 出会う

どこまでも続く  
キンポウゲの群落

ボタニカル  
ガイド

オユンツェツェグ博士  
モンゴル国立大学・理学部、生物学科主任  
モンゴル国立大学の生物学科で植物学を専攻。25年の長きにわたりモンゴルの植物を研究しています。主な研究テーマは「希少植物保護評価」と「国立公園の植物研究」

### 幻の 黄色いケシ



### シベリア鉄道



編集長鹿島が現地で見つけたオリジナル企画  
驚きの高山植物と銀の星が降り注ぐ国  
さわやかモンゴル6日間の旅

旅行期間: 6/3(水)~6/8(月) 最少催行:10名様 募集人員:20名様  
旅行代金:お1人様2名1室 298,000円 1人部屋追加料金 40,000円  
早期割引 3月末迄お申込みの方 3,000円引き

日	行程	朝食	昼食	夕食	泊
1 6/3(水)	新潟各地より7:00頃出発。成田空港よりモンゴル航空にてウランバートルへ。ウランバートル到着後、専用車でホテルへ。夕食:「THE BULL」しゃぶしゃぶのご夕食を。	朝:○ 昼:○ 夕:○			ウランバートル泊
2 6/4(木)	朝食:ホテルの1階のレストランでバイキング。専用バスにてダルハン市へ出発。昼食:ダルハン市のモンゴル料理レストラン。昼食後、ユルー川とハラール川の合流地に位置する「ノーマッド」ゲルキャンプへ移動。ゲルキャンプに到着後、ゲルにチェックイン。夕食:ゲルキャンプのレストランでバーベキューディナーを。キャンプファイヤーと星空をお楽しみください。	朝:○ 昼:○ 夕:○			ノーマッド・ゲルキャンプ泊
3 6/5(金)	朝食:ゲルキャンプのレストランで、途中でマグネットロックを見学し、旅を続かせます。フデル村に到着後、ピクニックランチ。モンゴルで生えている4種類のアツモリソウやケシの花その他の植物・お花を見に行きます。現地ガイドが同行し、案内します。ゲルキャンプのほうへ出発。ゲルキャンプに到着。夕食:ゲルキャンプのレストランでピザをはじめとするイタリアン風の夕食を。夕食後、みんなでチームに分けて「カラーボール」というゲームをお楽しみください。キャンプファイヤーと星空をお楽しみください。	朝:○ 昼:○ 夕:○			ノーマッド・ゲルキャンプ泊
4 6/6(土)	朝食:ゲルキャンプのレストランで。シャクヤクを見にボルガン町のほうへ出発。昼食:エルテネット市でロシア料理レストラン。ボルガン町から30km自然の道で行って、シャクヤクの花をお楽しみください。現地ガイドが同行し、案内します。見学後、エルテネット市に戻ってきて、ホテルにチェックイン。早めの夕食:エルテネットのレストランで。夜行列車でウランバートルへ出発。	朝:○ 昼:○ 夕:○			夜行列車泊
5 6/7(日)	ウランバートルに到着後、専用バスにてホテルへ。ホテルレストランにて朝食後、テレルジ国立公園へ。ウランバートル帰着後、馬頭琴、ホーミー、舞踊、長唄などの民族舞踊鑑賞を楽しみます。モンゴル最後の夕食はシャングリラホテルの豪華ディナービュッフェをお楽しみいただけます。	朝:○ 昼:○ 夕:○			ウランバートル泊
6 6/8(月)	専用車で空港へOM501便にて一路帰国の途へ。成田空港に到着後、専用バスにて新潟へ(約5時間)				

1218 モンゴル 6日間 【利用予定ホテル】ウランバートル/ケンピンスキーホテル、ノーマッド/ゲルキャンプ  
◆日本発着時の利用航空会社:モンゴル航空  
◇燃油税及び航空保険料:2,980円 現地空港税:1,150円 成田空港税:2,610円 出国税:1,000円

# 銀の星が降り注ぐ

ゲルキャンプの夜は、  
キャンプファイヤーと  
星空をお楽しみください。

ゲルキャンプでの食事イメージ

バーベキューディナー

## 自然の中に身をゆだねる...

# ゲルキャンプ

宿泊体験

テレルジ国立公園の  
チンギスハーン象

シャワー  
あります

レストラン  
あります

## 2019年6月 モンゴル下見に 行ってきました!

### 下見報告

現地では手配会社の社長とランドクルーザーを駆使して爆走すること2,000km。道なき道を走破しモンゴル国内を視察してきました。ある時は羊の群れに道路を遮られ、ある時は牛の群れに追われ、またある時は水深1mの川を渡るという日本国内では考えられない体験をしながらの視察でした。その様子をご紹介します。

1 ウランバートルの目抜き通りで

2 国道も動物たちが優先

3 モンゴルは羊・牛・馬・ヤクなどの家畜が人口の22倍!

4 現地手配会社社長 ドジルハンドさん

5 ゲルキャンプはこんな感じ

6 ゲルキャンプではこんな食事

7 ずっと眺めていても飽きない風景が...

8 モンゴルオダマキの群落

9 お花畑に埋もれる図

10 キャンプでお世話になった人たちの姿...とてびで見てみようかなです。

11 帰路地元のマーケットで